

霧島山(新燃岳)の地震活動・地殻変動*

Seismic activity and crustal deformation of the Kirishima volcano (Shinmoe-dake)

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2018年6月1日から2018年9月30日までの期間における地震活動と地殻変動について報告する。

図1は防災科研火山観測網の定常処理でおこなっている震源分布図である。万膳観測点直下では高周波の地震が多く発生した。一方、硫黄山や新燃岳では、高周波、やや低周波、低周波の地震活動が活発になった。

図2は同期間の基盤的火山観測点(KRMVとKRHV)の傾斜変動図である。図3の同期間のGNSS解析結果である。火山活動に関連すると考えられる2点間の伸張と隆起が観測されている。

* 2018年12月10日受付

** 棚田俊收, 上田英樹, 宮城洋介, 藤田英輔, 長井雅史

Toshikazu Tanada, Hideki Ueda, Yousuke Miyagi, Eisuke Fujita, Masashi Nagai

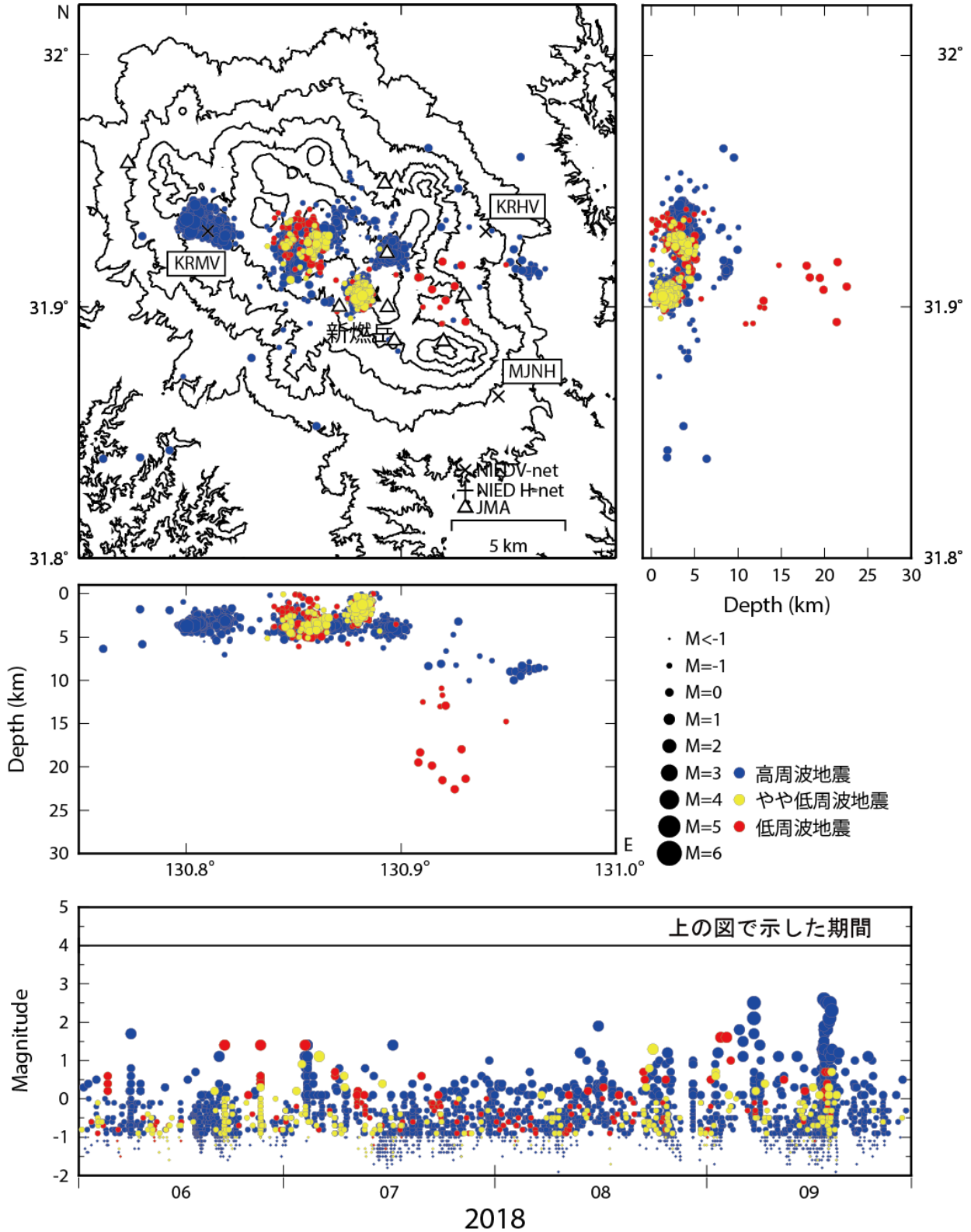


図1 霧島山の震源分布図(2018/6/1-2018/9/30)

この地図は、国土地理院発行の数値地図 50m メッシュ (標高) を使用したものである。

Fig.1 Hypocenter distribution around Kirishima Volcano(2018/6/1-2018/9/30).

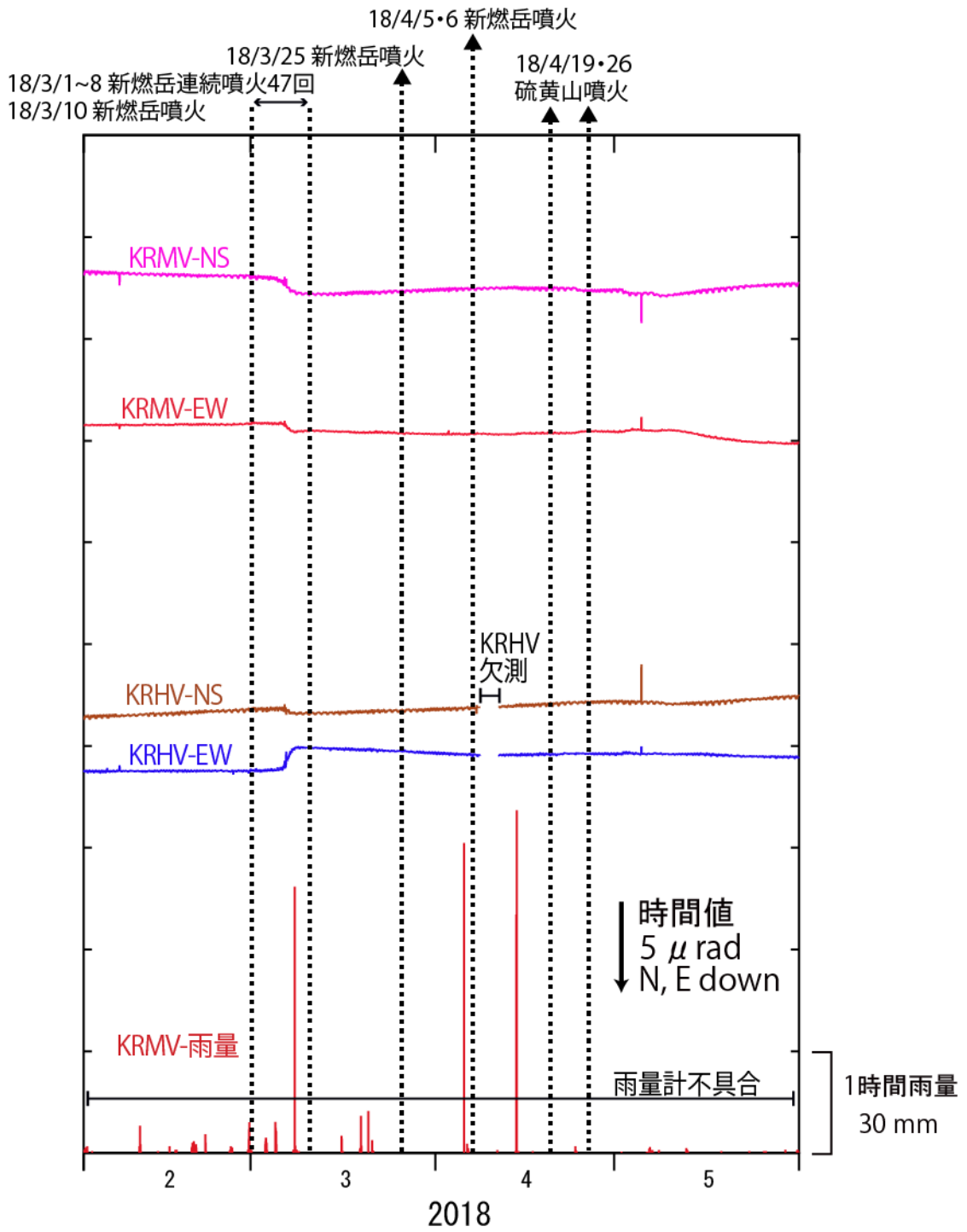


図2 防災科学技術研究所による傾斜変動観測結果(2018/6/1-2018/9/30)

Fig. 2 Tilt change of NIED tiltmeter (2018/6/1-2018/9/30).

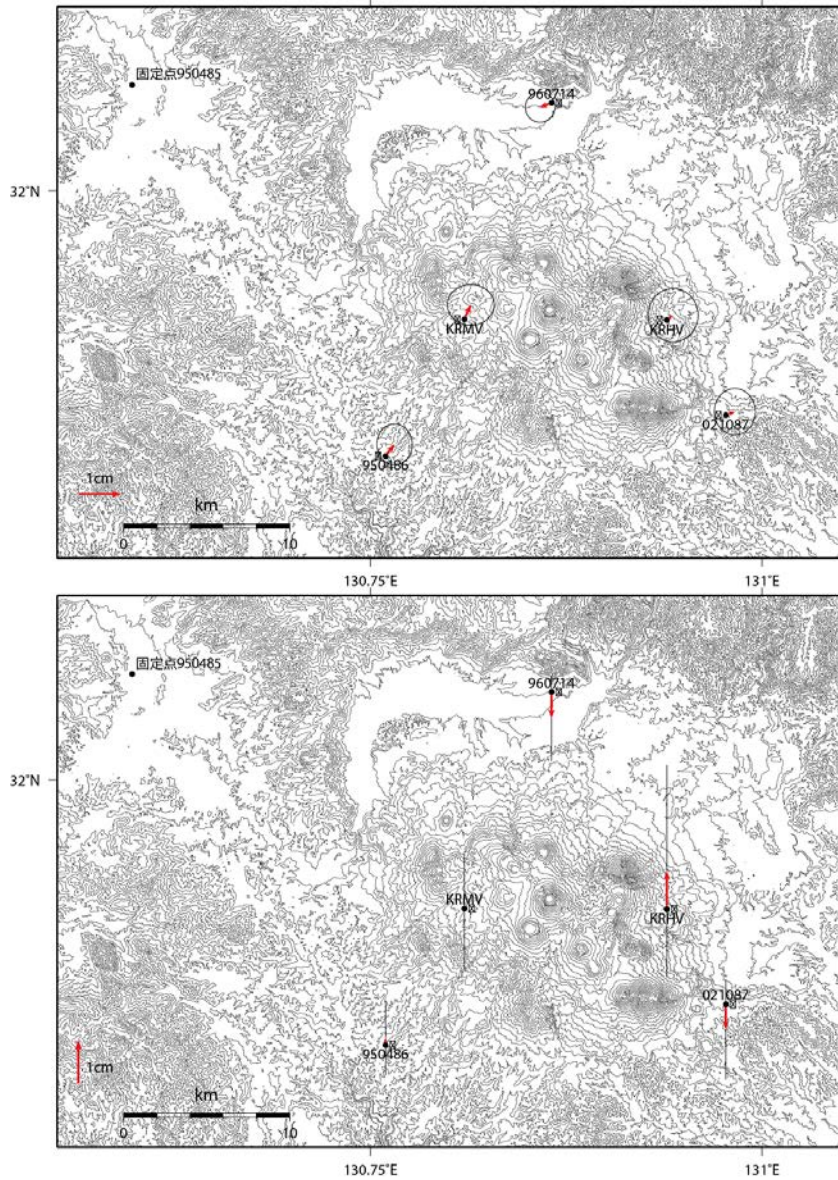
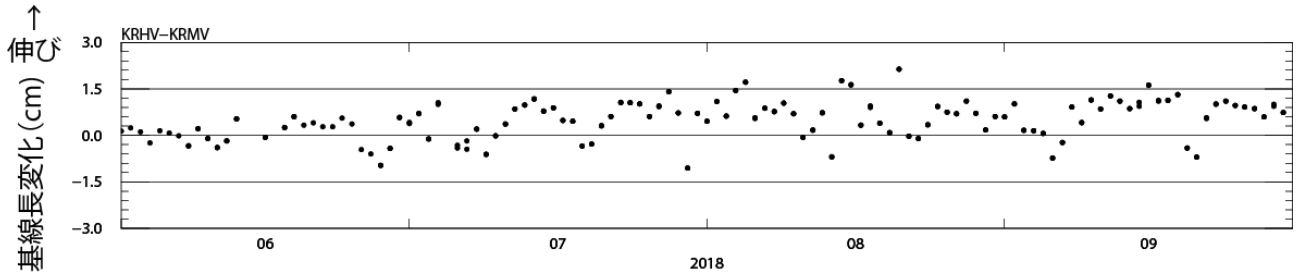


図3 (上段) 防災科研 KRHV と KRMV との間の基線長変化図
(下段) 防災科研の GNSS と国土地理院 GEONET の統合解析によって得られた地殻変動
【大口 (950485) 固定】

Fig. 3 (Upper) Baseline length change between KRHV and KRMV of NIED.
(Bottom) Observed displacement vectors at GNSS stations of NIED and GSI relative to Ooguchi(950485) for the period from Jun 1, 2018 to Sep 30, 2018.